

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	17	氏名	諏訪部 孝 敏 議 員	1 / 1	
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者	
1	障がいのある方への支援について		<p>外見ではわかりにくい障がいを持っていて、援助や配慮が必要な人のサインとなる「ヘルプマーク」を東京都が作成しました。主に内部障がいや難病の人、妊婦初期の人を初め配慮を必要とする全ての人が、かばんなどに付けて使用します。最近では、東京都以外の自治体も導入を始め、ヘルプマークは徐々に全国に広がりつつあるようですが、当市の現状と普及状況について伺う。</p> <p>(1) 障がいに関するシンボルマークの現状について伺う。 (2) 小・中学校でのヘルプマークの啓発について伺う。</p>				市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	消防団への支援について		<p>消防団への支援については、これまで多くの議員がその必要性を訴え、基本的装備や処遇の見直しなどが行われてきました。しかし、急速な少子高齢化や過疎化、さらには遠方に勤める方が増え、私の地元野中でも消防団員の確保に苦慮しています。地域だけでの団員の増加は難しいと考え以下質問を行う。</p> <p>(1) 今現在の団員数とその家族を含めた人数を伺う。 (2) 消防団の活動に協力する事業所を増やすことについて伺う。 (3) ジュニア消防団の結成について伺う。 (4) 学校教育での救命講習の重要性について伺う。 (5) 職員の消防団員への加入について伺う。 (6) 消防団応援の店の協賛及び協力店設置について伺う。 (7) 詰所の耐震及び更新について伺う。 (8) 更新期を迎えリタイヤする特殊車両について伺う。</p>				市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	共生型サービスを提供する事業所の拡充について		<p>共生型サービスは、介護や障がいのサービス事業所で両方のサービスを受けられるようにするため、平成30年4月に創設された制度です。子どもや高齢者、障がい者が日常的なかかわりを持つことで、子どもには健全な育成、高齢者は子育て支援などで役割を持ち、健康を維持する効果があり、障がい者は活躍することで自我実現に効果があることが期待されています。今後、当市においても共生型サービス事業所が設置されることが予想されるが、そこで伺う。</p> <p>(1) 共生型サービスの内容について伺う。 (2) 設置が予想される共生型サービス事業所について行政側の対応について伺う。 (3) 当市の福祉の向上につながると思うが、市長の見解を伺う。</p>				市 長 関 係 部 長